



下寺中の地藏堂

## 益城の文化財

# 下寺中の地藏堂

—寺 迫—

益城町大字寺迫の下寺中灰塚には集落の守り神として神仏を祀る小堂や、荒神や自然天神などの屋敷神が多くあります。その一つである地藏堂は、下寺中の北側山腹にあります。見上げるような急斜面の石段は59段もあり、石段を上がった高台の竹林に囲まれたお堂に、大きさも形も違う4体の地藏尊が祀られています。釈迦入滅のあと現世に留まり人々を救うとされる地藏菩薩への地藏信仰は平安時代から盛んになったとされていますが、この地藏堂の建立年月は不明です。境内には「卍」の印が刻された昔の瓦が残されています。

毎年3月4日に「初願たて」、9月4日には「座まつり」が行われています。もともとは五穀豊穡などを祈願したと考えられる「初願たて」のときに、現在は地区の役員などを決めて行われるそうです。また、地区住民が交代で座主を務める「座まつり」では、酒・焼き豆腐・座禅豆・米粉で作った笹に通した「笹だご」を供えるならわしがあります。直会でお供えした焼き豆腐を肴に、住民同士の懇親を深め絆が強められます。笹だごは子どもたちへのお土産となります。昔は子どもの背丈ほどの大太鼓が置いてあり、子ども相撲も催され賑わったそうです。

行事だけでなく、建物の修理やお堂のまわりの整備など、代々地区のみなさんが守ってこられました。今は竹林に囲まれています。建立当時は、眼下に水田地帯、正面には朝来山・船野山、遠くに飯田山が一望できる素晴らしい場所であったでしょう。このような場所に当時は、難工事と思われる石段を築き、祀られた地藏菩薩は、この地の人々にとって大切な守り神であったことが推察されます。

※6月号の益城の文化財で、誤りがありましたので訂正します。

◎「佑雅安康」 ◎「佑我安康」

## 俳句

梅雨空に老農二人田植えなす  
梅雨入りか晴間のようにで零く雨  
賑わひの戻る田圃や麦の秋  
バスツアー若葉の季を愉しめり  
雨の多いそいでどこへかたつむり  
若風呂をいで湯に求め遠出する  
そよ風に吹かれて馬と草千里

早川宏次 選

## 狂句

昔思えば 餓死も凍死もせんで済む  
昔思えば 車どってん木炭車  
昔思えば となりに借りる味噌醤油  
昔思えば 今ん飽食夢のよう  
昔思えば 米粒ひとつ捨てきらん  
家には内緒 不倫ばれたら追い出さる  
家には内緒 隠し貯金もちよっと有る  
家には内緒 仕送りせびり貯めこんだ  
家には内緒 会社さぼってゴルフ場  
家には内緒 ひとりランチの贅沢さ

田上富岳 選

## 狂句次号の課題 「あと一息」しびしびながら

下陳	城	陶子
惣領	新居	露子
広崎	松原まゆみ	
惣領	小森英美子	
惣領	阪口由美子	
木山	増岡 伸禎	
惣領	阪口 基明	
惣領	小森英美子	
惣領	阪口 基明	
惣領	小森英美子	
惣領	阪口 基明	
木山	増岡 醉粋	
安永	井藤 吉郎	
宮園	永瀬 美波	
宮園	岩本よここ	
下陳	山田 凡骨	
惣領	新居 露子	
寺迫	吉村 丸正	
広崎	松原まゆみ	

投稿は役場広報係まで。

投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。

※数種に投稿される場合は、別にお送りください。